



副指揮者 **阪本正彦** デビューコンサート

横須賀交響楽団

第122回 定期演奏会

2017 **10/15** (日) 13:30開場 14:00開演
よこすか芸術劇場

ベートーヴェン/
「エグモント」序曲 op.84

ベートーヴェン/
交響曲 第1番 八長調 op.21

チャイコフスキー/
交響曲 第6番 口短調 op.74「悲愴」

指揮：阪本正彦
入場料：指定席(1・2階)¥1,500.- / 自由席(3・4階)¥1,000.-



©Studio Titto

阪本正彦

主催：横須賀交響楽団 / 公益財団法人 横須賀芸術文化財団
主後援：公益財団法人 横須賀市生涯学習財団 / 横須賀市音楽協会 / 株式会社ジェイコム湘南 /
FMブルー湘南 (78.5 MHz) / 朝日新聞社 / 神奈川新聞社 / 毎日新聞社 / 読売新聞社
前売所：芸術劇場チケットセンター (横須賀中央駅西口モアーズシティ1F モアーズストリート /
芸術劇場1F サービスセンター内) / (株)オクターヴ / ユニオン・ミュージックセンター (事務所)
芸術劇場インターネットチケット：<http://www.yokosuka-arts.or.jp> (24時間受付・指定席のみ)
電話予約：芸術劇場電話予約センター (046-823-9999) ※ 未就学児童のご入場はご遠慮ください

7/31 (月)
発売開始

横須賀交響楽団ホームページアドレス：<http://www.y-net.co.jp/yokosukasymphony/>



Profile



副指揮者 阪本正彦

東京都青梅市出身。1987年東京芸術大学卒業。ホルンを宇田紀夫、守山光三、千葉馨、室内楽を村井祐児、海鉾正毅、指揮を湯浅勇治、高階正光、松沼俊彦、下野竜也の各氏に師事。1985年神奈川県立音楽堂推薦音楽会に出演。1986年東京交響楽団入団。オーケストラ活動のみならず、アマチュアオーケストラ・吹奏楽等への的確な指導にも定評がある。

湯浅勇治氏（ウィーン国立音楽大学准教授）による指揮セミナー聴講を契機に2008年秋より受講を開始、2011年6月に東京国際芸術協会の登録オーディションを経て、同協会の登録指揮者となる。2012年フィンランドのナントリで行われたヨルマ・パヌラ指揮マスタークラスに参加、最終日の祝賀コンサートに出演、シューベルトを指揮した。2013年夏にフィレンツェ国際指揮マスタークラスに参加、フィレンツェ室内管弦楽団音楽監督ジュゼッペ・ランツェッタ氏の薫陶を受ける。2015年にはブダペスト国際指揮マスタークラスを受講し、オーケストラと共に演奏の喜びを分かち合うなど、指揮者としての研鑽を重ねている。

2013年夏より「槌音プロジェクト」を支援する、オーケストラとコーラスによる震災復興支援チャリティーコンサートを企画、これまでに5度開催している。また2013年末には奄美群島日本復帰60周年記念第九演奏会の指揮を務め、毎年末に演奏会を指揮している。2014年には歌劇「椿姫」を指揮し、オペラデビューを果たした。2015年2月三菱東京UFJ管弦楽団第13回定期演奏会では“素晴らしい響きと躍動感あふれる音楽を導き出した”との評価を受けた。本年末には、奄美にてVn.久保陽子さんとの再共演も予定されている。

現在、東京交響楽団ホルン奏者、ピアノと木管五重奏ゼクステット魅生瑞（みゅうず）メンバー、Glanz弦楽合奏団主宰・指揮者、横須賀交響楽団顧問及び副指揮者。

横須賀交響楽団

1956年、湘南交響楽団として創立、同年11月に第1回定期演奏会を開催。65年、横須賀交響楽団と改称。

活動は、年2回の定期演奏会を中心に、カジュアル・コンサート、親子コンサート、組曲「横須賀」演奏会、ふれあいコンサート、アメリカン・サウンド・イン・ヨコスカ、「第九」演奏会への出演のほか、市民音楽のつどいに参加するなど、年間8～9回の演奏活動を精力的に行っている。

72年、中国中央楽団創作のピアノ協奏曲「黄河」の日本人初演。88年、とうきょうエキコンにアマチュア初出演。91年、第40回神奈川文化賞を受賞。また、08年にはマスカーニ「カヴァレリア・ルスティカーナ」（指揮：北原幸男）を横須賀芸術劇場合唱団と共演し、初めてのオペラ全曲公演に成功、大好評を博した。昨年、創立60周年を迎えた。

現在団員数は150名を超え、市民とともに歩む県下でも有数のアマチュアオーケストラとして、その活動が注目されている。